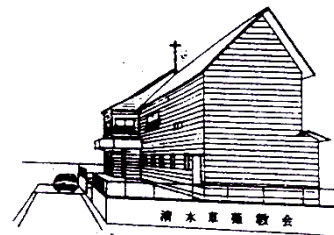


## 《今朝のみ言葉から》

“私を助けてください”、実に単純な言葉です、多くの英文の聖書では“Lord, help me!”と訳されています。もともとのギリシャ語でも“命令形”の言葉です。さてこの助けてくださいですが、あいてに、助けになってくれる力などないと思った時、また助けてもらう必要などないと思った時、そして、極端に失望してしまって、期待するようなものは何もない、などと思った時に、この簡単ですが大切な“助けてください”という言葉をおぼえています。もう一度“主、助けてください、困り果てているのですから”という祈りの大切なことを思い出しましょう。そのような時には助けとなる人が与えられるのです。“慰められるよりは、慰めることを!”、“してもらうよりは、してあげてを!”ということの大切さと意味を知っていますが、“慰められた人が慰めることができ、親切にされた人が親切にできる”のです。ヨハネの第一尾の手紙 4:19には“わたしたちが愛し合うのは、神がまずわたしたちを愛して下さったからである”とあります。すべて良い関係の内には、まず神様の愛があるのです。今朝の聖書の箇所をみましょう。22節で“カナンの女が出てきて”とあります。このカナンですが、もともとは創世記に出てくる、ノアの孫の名前に由来している、ひとつの民族の名前になります。“カナンはのろわれよ。彼はしもべのしもべとなって、その兄弟たちに仕える(創世記 9:25)”ともあります。弟子たちもこの箇所は知っていたようです。神の民とはいえない異邦人なのです。この異邦人女性とのイエス様の会話が、今も新鮮に聞こえ、安心を与えてくれるのは、やはり信仰の故なのです。信仰を持つのは私たち、しかしその信仰をそなえられたのが、神だということでしょう。この女性も、日本人同様異邦人だったのです。しかし信仰を持っていました。“あなたの信仰はみあげたものだ(28節)”とあるのは、さすが立派の信仰者ということですが、修行したとか、頑張ったというような、行為に関することよりも、神様が与えてくださった、内にあるキリストの救いを、よく理解できたということ。人の内にあるキリストの救いを思い出しましょう。

# 週報

2009年 2月 15日



伝えよう 救い主を  
迎えよう 主の民を

日本フリーメソジスト

## 清水草薙キリスト教会

牧師 村上 定幸

教会学校	毎日曜日	午前 9:00
礼拝式	毎日曜日	午前 10:30
	(聖餐式 第一日曜日)	
夕礼拝式	毎日曜日	午後 7:00
エステル公会	毎水曜日	午前 10:30
聖書研究祈禱会	毎水曜日	午後 7:00
ホームページ	<a href="http://kusanagi.church.jp/">http://kusanagi.church.jp/</a>	

〒424-0885

静岡市清水区草薙杉道3丁目2-26

☎054-345-4070 E-Mail [grace@big.jp](mailto:grace@big.jp)